

# Hello! FUJISEI

No.280

家計の金融商品別の構成比は、預貯金がもっとも高く、以下、有価証券、生命保険となっています。2012年からの推移を見ると、預貯金から有価証券へのシフトがうかがえます。

金融広報中央委員会の「平成27年家計の金融行動に関する世論調査（二人以上世帯調査）」によると、金融資産の保有額の平均値は1,209万円（前回1,182万円）と増加し、金融資産保有世帯の平均値も1,819万円と（前回1,753万円）増加しました。

金融資産の保有目的は、「老後の生活資金」が「病気や不時の災害への備え」を抑えて、3年連続でトップとなっています。「老後の生活資金」がトップとなっているのは、公的年金の支給開始年齢の引き上げや消費税増税等による老後への不安の高まりなのでしょう。老後の生活や健康、介護問題、いづれもお金がかかります。

老後は収入の減少に合わせて消費支出を減らすことが必要ですが、それまでの生活レベルを低下させることとなりますから、早めに資金準備をすることが必要となります。

「病気や不時の災

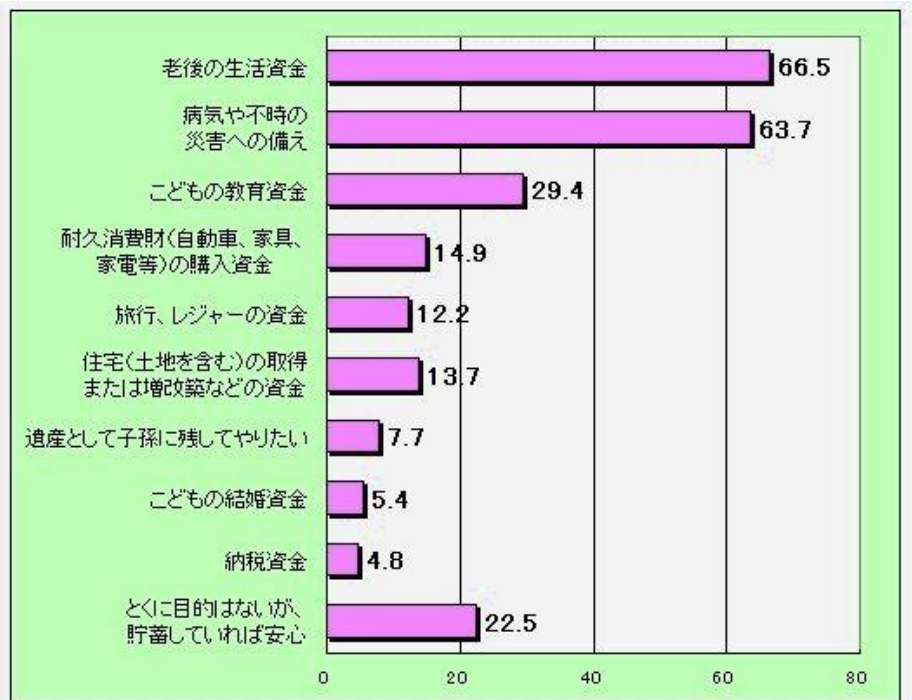
## 金融資産の保有目的

# 「老後の生活資金」が 3年連続でトップ

害への備え」も依然として高くなっています。少しずつ蓄えるのでは、万一のときに間に合わないかもしれ

れません。やはり、契約した時から十分な保障が約束される生命保険が一番だと言えます。

金融資産の保有目的（金融資産保有世帯、3つまでの複数回答、%）



金融商品別構成比（2012年～2015年の推移、%）

	預貯金		金貨 金銭付 信託	生命 保険	損害 保険	個人 年金	有 価 証 券	債 券	株 式	投 資 信 託	財 形 貯 蓄	そ の 他
	うち 定期 性											
2012年	56.9	34.2	1.2	17.6	2.2	5.7	13.2	2.4	5.6	5.1	2.4	0.9
2013年	55.0	33.7	0.5	15.9	2.4	6.0	16.9	3.0	8.3	5.6	2.3	1.0
2014年	54.1	31.6	0.5	18.0	2.3	5.4	16.8	3.0	8.2	5.7	2.1	0.7
2015年	53.2	32.4	1.0	16.9	2.5	5.9	17.7	1.7	8.9	7.0	2.2	0.7
2015年の 実額(万円)	970	589	17	307	45	106	321	32	162	127	39	14

金融広報中央委員会「平成27年 家計の金融行動に関する世論調査」[二人以上世帯調査]より

AIG富士生命保険株式会社

〒105-8633 東京都港区虎ノ門4-3-20

神谷町MTビル